



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 下枠が垂下がり、躯体を傷めるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・指定のスクリーュー釘・木ねじで枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・サッシ本体の本固定前に必ずガラスのすき間がないように調整してください。

■取付け上のお願い

- 施工現場保全のため、不在時は必ず窓を閉め切ってください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付けた製品に足をかけたり、のたたりしないでください。キズ・変形の原因になります。
- テラスサイズの場合、ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。(ガラスの取付け順序は組立て説明書を参照してください。)

■取付けねじ一覧表

※本文中の①・②は、ねじの種類を示します。

①	②
	
スクリーュー釘	皿木ねじφ3.1×20

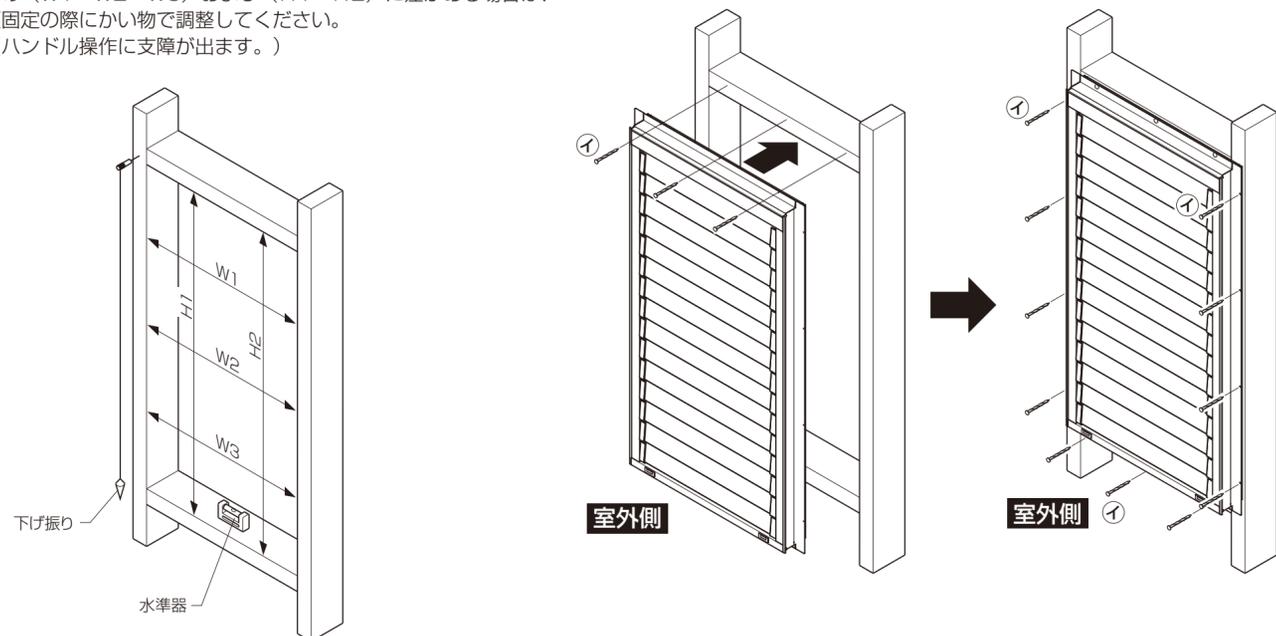
■取付け順序

1 開口部の確認

- 開口部の水平・垂直が出ていることを確認してください。(ルーバー部の開閉に支障がでます。)
- 開口寸法を確認してください。
- 図の(W1・W2・W3)および(H1・H2)に差がある場合は、仮固定の際にかい物で調整してください。(ハンドル操作に支障が出ます。)

2 サッシ本体の仮固定とガラスのすき間調整

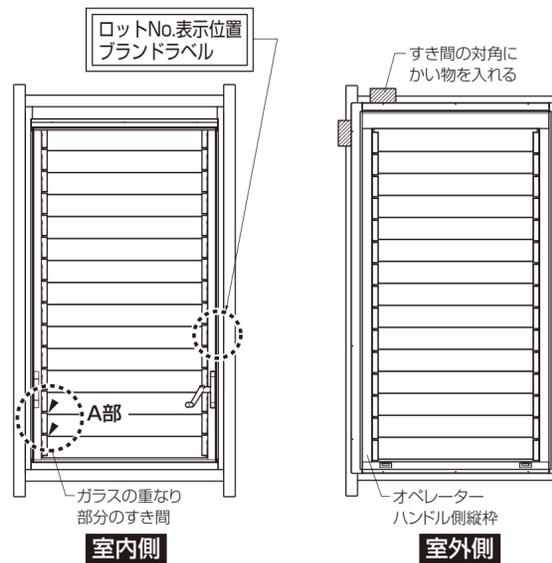
- ①枠の直角を出しながら仮止めします。(上枠)
- ②下げ振り、水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、仮止めします。(上下枠左右計4カ所)



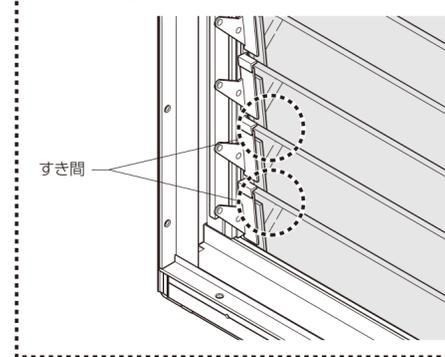
- ③すき間のある場合は、仮止めした④スクリーュー釘をゆるめ、下図のようにかい物を入れるなどして屋外から調整してください。
- ④残りの④スクリーュー釘を打込みます。

⑤躯体と枠のすき間に室内側からかい物を入れて調整します。

【調整例】



■A部詳細図



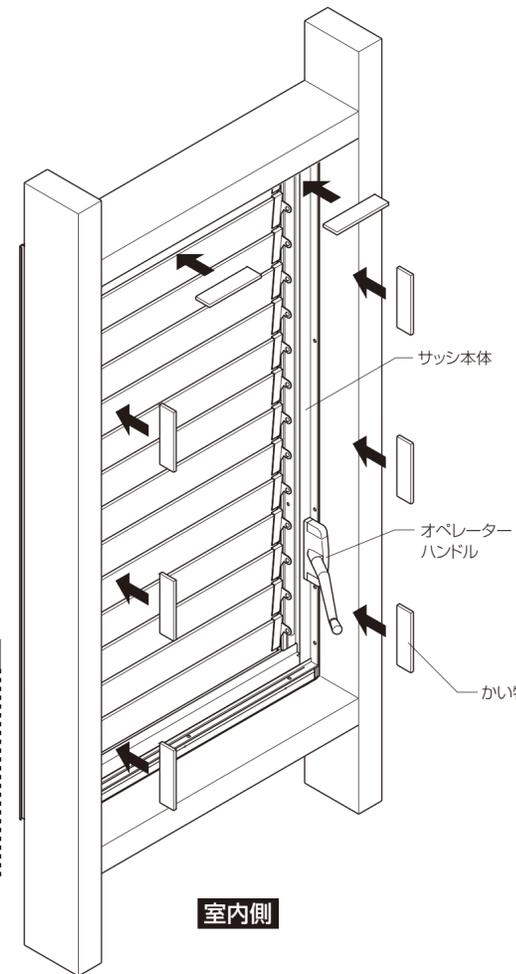
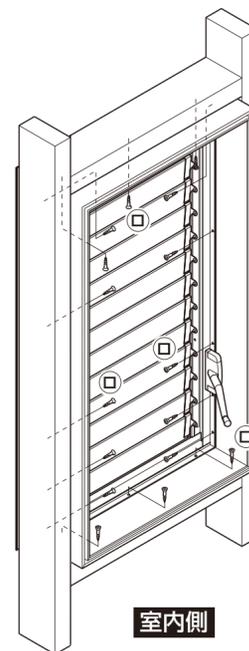
▲注意

- 漏水・すき間風の原因になるおそれがありますので、必ずサッシ本体の本固定前に、ガラスにすき間がない(名刺が入らない)よう調整してください。

3 サッシ本体の本固定

- 造作材を取付けた後、室内側から②皿木ねじで本固定します。

●お願い
※施工現場保全のため、不在時は必ず窓を閉め切ってください。



▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

